

俳句に親しもう

□ 年 □ 組 □ 番 名前

◇ 次の俳句について、問題に答えましょう。

① 名月をとってくれろと泣く子かな
(小林一茶)

② 雪の朝二の字二の字の下駄の跡
(田捨女)

③ 閑かさや岩にしみ入る蝉の声
(松尾芭蕉)

④ ゆさゆさと大枝ゆるる桜かな
(村上鬼城)

(一) リズムよく読めるように、二カ所に区切る線を書きこみ
ましょう。

例 菜の花や月は東に日は西に

(二) それぞれの俳句の季語と季節を書きましょう。

季節	季語	
		①
		②
		③
		④

(三) それぞれの俳句がどんな様子ようすを表あらわしているかを考え、
記号ごうで書きましょう。

ア 大きな桜の木の枝が、たくさんたくさんの桜の花びらをつけて、
風にゆれている。

イ 満月まんげつがとてもきれいなので、取とってほしいと小さなわ
が子が泣いている。

ウ 雪がふった朝、外へ出てみると「二」の形になったげた
のあとがたくさんできていた。

エ ひっそりとしずかな中で、せみの声だけが岩にしみこむ
ように聞こえてきた。

①					
②					
③					
④					

俳句に親しもう（答え）

（一）リズムよく読めるように、二カ所に区切る線を書きこみましょう。

①	名月を <u>と</u> って <u>くれ</u> ろと <u>泣</u> く子かな	（小林一茶）
②	雪の朝 <u>二</u> の字 <u>二</u> の字の <u>下</u> 駄の跡	（田 捨女）
③	閑か <u>さ</u> や <u>岩</u> に <u>し</u> み入る <u>蟬</u> の <u>声</u>	（松尾芭蕉）
④	ゆさ <u>ゆ</u> さと <u>大</u> 枝 <u>ゆ</u> る <u>る</u> 桜かな	（村上鬼城 ^{きじょう} ）

（二）それぞれの俳句の季語と季節を書きましょう。

季節	季語	
秋	名月	①
冬	雪	②
夏	せみ	③
春	さくら	④

※ 季語は、その季節を表す言葉で、俳句には必ず入ります。
秋は月が美しく、今でも秋にはお月見が行われますね。

（三）それぞれの俳句がどんな様子を表しているかを考え、記号で書きましょう。

①	イ	②	ウ	③	エ	④	ア
---	---	---	---	---	---	---	---

短歌に親しもう

□ 年 □ 組 □ 番 名前

◇ ①から③の短歌について、問題に答えましょう。

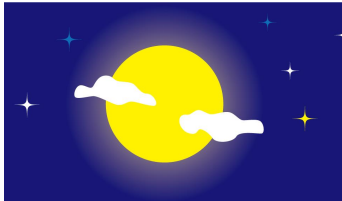
① 田子の浦にうちいでてみれば 白たえの富士の高嶺に 雪はふりつつ



田子の浦のはまべを歩いてきて、けしきがよく見えるところに来てみたら、真っ白な富士山の高いところに、雪がふり続いていた。

やまべの 赤人
山部 赤人

② 天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山にいでし月かも



大空をあおいではるか遠くの空を見ると、月が出ている。あの月は、ふるさとの春日にある三笠山に出ている月と同じなのだろうなあ。

あべのなまろ
阿倍仲麻呂

③ 向日葵は金の油を身にあびてゆらりと高し日のちひささよ



ひまわりは金の油をあびたようにかがやいてゆらりと高く立っている。後ろに見える太陽が小さく見えるほどだ。

ゆうぐれ
前田夕暮

(一) リズムよく読めるように、②と③にも①のように四力所に区切る線を書きこみ、音読しましょう。

(二) それぞれの歌をよんだ時の気持ち^もを考え、番号^{ばんごう}を書き入れましょう。

番号	短歌を作ったときの気持ち・思い
	植物 ^{しょくぶつ} のたくましさや力強さにおどろく気持ち。
	ふるさとをなつかしく思い出す気持ち。
	目の前に見えるけしきの大きさ、美 ^{うつく} しさに感動 ^{かんどう} する気持ち。

短歌に親しもう（答え）

（一）リズムよく読めるように、②と③にも①のように四力所に区切る線を書きこみ、音読しましょう。

② あま天の原ふりさけ見ればかすが春日なる三笠みかさの山にいでし月かも

③ ひまわり向日葵は金の油あぶらを身にあびてゆらりと高し日のちひささよ

（二）それぞれの歌をよんだ時の気持ちもを考え、番号ばんごうを書き入れましょう。

番号	短歌を作ったときの気持ち・思い		
③	しよくぶつ 植物のたくましさや力強さにおどろく気持ち。	②	ふるさとをなつかしく思い出す気持ち。
①	目の前に見えるけしきの大きさ、美 うつく しさに感動 かんどう する気持ち。		

ことわざに関しよう

□ 年 □ 組 □ 番 名前

一、次のことわざは、動物の名前が出てくることわざです。

の中から動物を選んで書きこみましょう

① () の耳に念仏 ねんぶつ

② 泣きっ面 つら に ()

③ () に小判 こばん

④ () も木から落ちる お

⑤ 能 のう ある () はつめをかくす

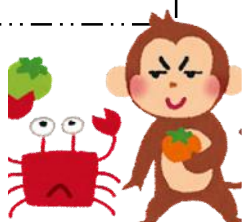
⑥ () に真珠 しんじゆ

⑦ とらぬ () の皮算用 かわざんよう

⑧ 飛 と んで火に入る夏の ()



たか	たぬき	馬	さる
ねこ	ぶた	虫	はち



二、次のことわざは、数字がふくまれたことわざです。

に漢数字^{かんすうじ}を入れましょう。

①石の上にも

年

②

死に一生をえる

③聞くは

時の恥、聞かぬは

生の恥

生の恥

④

転び

起き

⑤一を聞いて

を知る

⑥三つ子のたましい

まで

⑦

里の道も一歩から

(一) ことわざとその意味を線でつなぎましょう。

かっぱの川流れなが

小さなこともつみ重ねかされば
大きな力となる。毎まい日の
努力どりよくが大切である。

ちりも積もれば
山となる

どんなにいく意いでも、ゆ
だんするとしっばいする。

百聞ひやくぶんは一見いつけんに
しかず

一度に二つのことをしよ
うとすると結局けっきよくどちらも
うまくいかない。

目は口ほどにも
のをいう

何度なんども人に聞くより、自
分の目で見た方がよくわか
る。

二兎にとを追おう者は
一兎いっとをも得えず
※兎…うさぎ

その人の目を見れば、何
が言いたいかわかる。

(二) (一)の五つのことわざのうち、次のお話の中では、どれを使^{つか}ったらよいでしょう。

当てはまることわざを入れましょう。

①毎日一文字ずつ漢字^{かんじ}の練習^{れんしゅう}をしていたら、いつの間にか四年生で習^{なら}うすべての漢字が書けるようになったよ。まさに

だね。

②おにごっここの時、林さんと森さんを一度^{いちど}につかまえようと思って走^{はし}ったけれど、二人ともにげられちゃった。林さんだけ追^おいかければよかったな。

っていうものね。

③お母さんはまだおこっているんだな。だまっているけれど、

から、わかつちやうよ。

「ことわざ」に親しもう（答え）

一、

①（馬）の耳に念仏

＊人の意見に耳をかさず、少しもこうかがない。

②泣きっ面に（はち）

＊不幸なことが重なること。

③（ねこ）に小判

＊何の役にもたたないこと。

④（さる）も木から落ちる

＊上手にできる人でも時にはしっぱいすることがある

⑤能ある（たか）はつめをかくす

＊のう力がある人は軽々しく見せつけない。

⑥（ぶた）に真珠

＊何の役にもたたないこと。

⑦とらぬ（たぬき）の皮算用

＊まだ手に入らないのに、入ると期待してその先をあれこれと計画する。

⑧飛んで火に入る夏の（虫）

＊自分から進んできけんなことにとびこんでいくこと

① 石の上にも

三

年

* つらくても続け^{つづ}れば、いつかはやりとげられる

②

九

死に一生をえる

* あぶないところで、きせきてきに^{たす}助かる

③ 聞くは

一

時の恥、聞かぬは

一

生の恥

* 知らないことは進んで聞くべきだ

④

七

転び

八

起き

* 何回しっぱいしてもあきらまないこと

⑤ 一を聞いて

十

を知る

* とてもかしこく^{りかいりよく}理解力がある

⑥ 三つ子のたましい

百

まで

* 小さいころの性格^{せいかく}は年をとっても変^かわらない

⑦

千

里の道も一歩から

* どんなに大きなことも努力^{どりよく}を重ねていけば成功^{せいこう}する

(一)

かっぱの川流れなが

ちりも積もれば
山となる

百聞ひやくぶんは一見いつけんに
しかず

目は口ほどにも
のをいう

二兎にとを追おう者は
一兎いっとをも得えず
※兎…うさぎ

小さなこともつみ重ねかされ
ば大きな力となる。毎日まいの
努力どりよくが大切である。

どんなにとく意いでも、ゆ
だんするとしっぱいする。

一度に二つのことをしよ
うとすると結局けっきよくどちらも
うまくいかない。

何度なんども人に聞くより、自
分の目で見た方がよくわか
る。

その人の目を見れば、何
が言いたいかわかる。

(二)

- ① ちりも積つもれば山となる
- ② 二に兔とを追おう者は一い兔とをも得えず
- ③ 目は口ほどにものをいう

慣用句に親しもう

年 組 番 名前

一、慣用句とその意味を線でつなぎましょう。

気が長い

自信が持てず、思い切り
行動できない。

気が気でない

何かと先を急ぎ、進めてし
まおうとする。

気が早い

のんびりしていて、いらいら
しない。

気が弱い

気になることがあって、心配
で落ち着かない。

気が進まない

なかなかそれをしようとい
う気持ちになれない。

二、一つのわくに入っている慣用句の には、同じ漢字が

入ります。漢字はすべて、体の部分ぶを表します。その漢字を

に書きましょう。

①

が回らない	を長くする	をつっこむ

②

もとに火がつく	をひっぱる	を運 はこ ぶ

③

にたこができる	をうたがう	がいたい

④

が上がらない	をかかえる	をひやす

⑤

が 広 い	に ど ろ を ぬ る	か ら 火 が 出 る

⑦

た く な い	に 入 れ て も い	を 通 す

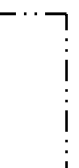
⑥

を は さ む	が す べ る	が か た い

⑧

も 足 も 出 な い	を ぬ く	が つ け ら れ な い

三、次の例文^{れいぶん}にふさわしい慣用句を
入れましょう。



から選^{えら}んで書き

①あと三分しかない
のに、そうじが全^{ぜん}然^{ぜん}
終^おわらない。

よ。

②となりのせきの友^{だち}達^{だち}
とは、すきな遊^{あそ}びもテレ
ビ番^{ばん}組も同じ。ぼくたち

ね。

③元^{きみ}氣な君^{きみ}が学校を休^{やす}むな
んて。教室の中は

だよ。

④毎日がんばっているの
に百メートル走のタイム
が上がらない。もういや
だ。ぼくはもう

よ。

⑤おにごっこでにげていた
けれど、ついになかよし山
までおいつめられてしまっ
た。もう

だ。

・ふくろのねずみ
・さじを投^なげる

・馬^{うま}が合^あう

・火^かが消^きえたよう
・ねこの手も借^かりたい

「慣用句」に親しもう（答え）

一、慣用句とその意味を線でつなぎましょう。

気が長い

自信が持てず、思い切り
行動できない。

気が気でない

何かと先を急ぎ、進めてしま
おうとする。

気が早い

のんびりしていて、いらいら
しない。

気が弱い

気になることがあって、心配
で落ち着かない。

気が進まない

なかなかそれをしようとい
う気持ちになれない。

二、①首 ②足 ③耳 ④頭 ⑤顔 ⑥口 ⑦目 ⑧手

*それぞれの慣用句について、意味も調べてみましょう。

三、

①ねこの手も借りたい

*とてもいそがしい

②馬が合う

*せいかく性格や気持ち^が合う

③火が消えたよう

*活気がなくなり、さびしい
ようす様子

④さじを投げる

*あきらめる

⑤ふくろのねずみ

*どこにもにげ場がなくな
って、おいつめられること

故事成語に親しもう

□年 □組 □番 名前

一、次の故事成語は、どのお話がもとになっていますか。線で

むすびましょう。

蛇足

＊必要ない物のこと

塞翁が馬

＊人生の不幸と幸運は予想できない

画竜点睛

＊最後の大事なところで手をくわえて完成させる

杞憂

＊必要のない心配をすること

虎の威を借る狐

＊力のある者や権力のある者の力を利用していばる

おかし、酒(さけ)の入ったつぼをけらいたちがもらった。そこで、早く蛇(へび)の絵をかき上げた人がその酒をぜんぶのおこにしまった。さいしょにかき上げた者は、ひまになり、蛇にはない足をつけ足してしまったため、「その絵は、蛇の絵ではない。」と言われ、二番目にかき上げた者に酒をとられてしまった。

おかし、「杞(き)」の国に、天がおち、地がくずれたらどうしようかと思いなやみ、ねることも食えることもできなかった人がいたという。

おかし、塞(とりで)の近くに住んでいた老人(翁)は、かっている馬ににげられたが、やがてその馬は別のりっぱな馬をつれて帰ってきた。ところが、今どはそのりっぱな馬に乗っていた老人のおすこが馬からおちてしまった。しかし、今度は戦争(せんそう)がおこりわか者はみんな兵隊(へいたい)につれて行かれたが、老人の息子はけがのおかげで戦争に行かずにたすかった。

虎(とら)が狐(きつね)をつかまえた。狐は「自分は、天のかみさまからすべての動物の長になるようにめいれいされている。信じられないのなら、私の後からついてきなさい。」と言った。動物たちは狐の後にいる虎を見てにげたが、虎はそのことに気がつかず、狐のことをばをしんじてしまった。

おかし、中国の絵の名人が寺のかべに龍(りゅう)をかいたが、ひとみだけはかかなかった。「ひとみを入れると、すぐに龍がとんでいってしまうからだ。」とせつ明したが、だれもしんじなかったのが、本当にひとみをかきこむと、たちまちに龍は本物になり、天にのぼっていったしまった。

二、次の会話文では、どの故事成語を使^{つか}ったらよいでしょう。

から選^{せん}んで、番^{ばん}号^{ごう}を

に書^かきましょう。

使^ばっている場^ば面^{めん}

あきとさん「今日、漢字の宿題（しゅくだい）をやってくるの
わすれちゃった。」

なおこさん「だめじゃない。わたしはやってきたよ。一時間も
かかったんだから。音読の宿題はわすれちゃった
けどね。」

たけしさん「宿題をわすれたことは同じだよ。二人とも
さ。」

あきとさん「さっきの紙きれ、まだ持っている？」

なおこさん「『すてて』ってたのまれたから、すてておいたよ。」

あきとさん「わあ、どうしよう。あの紙に、来週の図工で使^{つか}い
たい材料（ざいりょう）をメモしていたんだ。」

なおこさん「さんねん。
とは、このことね。」

お母さん「今日中に、部屋のそうじをしなさい。」

たけしさん「できないよ。今日はやるのがたくさんあるん
だ。」

お母さん「じゃあ、午後から家族（かぞく）でえい画に行く予
定（よてい）だけれど、たけしさんはむりね。」

たけしさん「行けるよ。えい画を見る時間はとれるから。」

お母さん「あなたの話は
しているわね。」

①矛盾（むじゆん）（話のつじつまがあわないこと）

②覆水盆（ふくすいぼん）に返^{かえ}らず（ひっくり返した水がおぼんにもどらない
ように、一度（いちど）やってしまうと取^とり返しがつかないこと）

③五十歩百歩（にたりよったりで、大きなちがいが無いこと）

「故事成語」に親しもう（答え）

一、

蛇足

＊必要ない物のこと

おかし、酒（さけ）の入ったつばをけらいたちがもらった。そこで、早く蛇（へび）の絵をかき上げた人がその酒をぜんぶのむことにした。さいしよにかき上げた者は、ひまになり、蛇にはない足をつけ足してしまったため、「その絵は、蛇の絵ではない。」と言われ、二番目にかき上げた者に酒をとられてしまった。

塞翁が馬

＊人生の不幸と幸運は予想できない

おかし、「杞（き）」の国に、天がおち、地がくずれたらどうしようかと思いなやみ、ねることも食することもできなかった人がいたという。

画竜点睛

＊最後の大事などころに手をくわえて完成させる

おかし、塞（とりで）の近くに住んでいた老人（翁）は、かっている馬ににげられたが、やがてその馬は別のりっぱな馬をつれて帰ってきた。ところが、今どはそのりっぱな馬に乗っていた老人のおすこが馬からおちてしまった。しかし、今度は戦争（せんそう）がおこりわか者はみんな兵隊（へいたい）につれて行かれたが、老人の息子はけがのおかげで戦争に行かずにたすかった。

杞憂

＊必要のない心配をすること

虎（とら）が狐（きつね）をつかまえた。狐は「自分は、天のかみさまからすべての動物の長になるようにめいれいされている。信じられないのなら、私の後からついてきなさい。」と言った。動物たちは狐の後にいる虎を見てにげたが、虎はそのことに気がつかず、狐のことをばをしんじてしまった。

虎の威を借る狐

＊力のある者や権力のある者の力を利用していばる

おかし、中国の絵の名人が寺のかべに龍（りゅう）をかいたが、ひとみだけはかかなかった。「ひとみを入れると、すぐに龍がとんでいってしまうからだ。」とせつ明したが、だれもしんじなかったので、本当にひとみをかきこむと、たちまちに龍は本物になり、天にのぼっていってしまった。

二、（右から）③ ② ①

漢字は便利

年 組 番 名前

一、ひらがなではまぎらわしい文も、漢字を使うと分かりやすくなります。

同じ読み方の漢字でも、意味は大ちがいだからです。
次の文の _____ に、それぞれちがう漢字を入れましょう。

① すぐに服を きる と、母にほめられる。
はさみで布を きる。

② はな をかぐと、いい香り
はな をかむと、気分すっきり。

③ りんごの実が き になる。
明日の天気 が き になる。

④ もう君とは はなさない。
もう君の手は はなさない。

⑤ ひ をあびて大きく育つ。
ひ であぶっておいしく食べる。

①	る	る
②		
③		
④	さない	さない
⑤		

二、ひらがなではまぎらわしい文も、漢字を使うと分かりやすくなります。

漢字で書けるところは線の左に漢字で書いてみましょう。

・うらにわ | には | にわ | にわ | には | にわ | にわとりがいる。

・は | は | い | は | は | は | は | み | が | かな | い。

漢字は便利（答え）

一、ひらがなではまぎらわしい文も、漢字を使うと分かりやすくなります。

同じ読み方の漢字でも、意味は大ちがいだからです。

次の文の _____ に、それぞれちがう漢字を入れましょう。

切る	① 着る
鼻	② 花
気	③ 木
放さない	④ 話さない
火	⑤ 日

二、ひらがなではまぎらわしい文も、漢字を使うと分かりやすくなります。

漢字で書けるところは線の左に漢字で書いてみましょう。

うら庭には二羽庭には二羽にわとりがいる。

歯はいい母は歯はみがかない。

国語辞典じてんを使おう

年 組 番 名前

山田さんの学校では、「は歯みがき教室」を行いました。その中で、しかえいせいし歯科衛生士さんは歯みがきの大切さを次のように話しました。

みなさんは、むし歯の原因げんいんを知っていますか。

ア歯みがきをしないと、歯の表面についたプラークにミュータンス菌がすみつき、とうぶん糖分をえいようにしていさん酸を出します。この酸が歯をとかし、むし歯ができるのです。むし歯にならないよう、食後に歯をみがく習慣うしゅうかんをつけましょう。

また、近年、小学生で「しにくえん歯肉炎」にかかる人が増加エぞうかしています。歯の土台である歯ぐきが病気びょうきだと歯を支えることができず、健康な歯けんこうもうしオなってしまうです。

正しい歯のみがき方をおぼえて、自分の歯と歯ぐきをまもりましょう。

一、山田さんは、わからない言葉を国語辞典を使って調べることになりました。国語辞典に出てくる順にア、エの記号をならべましょう。

↓ ↓ ↓

二、山田さんは、オの「うしなつて」を調べようと思いました。が、そのままでは国語辞典にのっていませんでした。どのような形に直して調べたらよいでしょう。

うしなつて ↓

国語辞典を使おう（答え）

一、山田さんは、わからない言葉を国語辞典を使って調べるところにしました。国語辞典に出てくる順にアゝエの記号をならべましょう。

イ↓ウ↓ア↓エ

二、山田さんは、オの「うしなつて」を調べようと思いましたが、そのままでは国語辞典にのっていませんでした。どのような形に直して調べたらよいでしょう。

うしなう

国語辞典は、言葉の意味や使い方を知りたいときやどんな言葉を使って書いたらよいかを知りたいときに使います。

☆国語辞典の引き方をおぼえましょう。

約束① 五十音順にならんでいます。

約束② 清音↓だく音 ↓半だく音の順に出ています。

ホール↓ボール↓ポール

約束③ 長音（のばす音）は、「あ」「い」「う」「え」「お」で読みます。

ケーキ↓けえき ゴール↓ごおる チーズ↓ちいず

☆また、文章の中で分からない言葉を調べるときには、「うしなつて」を「うしなう」に直したように、言い切りの形にしてから調べます。

例（れい）

話せば↓話す

食べよう↓食べる

青く↓青い

ことば
言葉のしゅるい

□年 □組 □番 名前

田中さんの学級では、言葉のしゅるいについて学習しました。言葉には、名前を表す言葉、動きうごを表す言葉、様子ようすを表す言葉などがあります。

田中さんは、いろいろなしゅるいの言葉を使って、妹と二人でシャボン玉あそびをしたことを作文に書こうとしています。次の作文メモの□□に入る言葉を、あとの1から4までの中から一つえらんで、番号にまるをつけましょう。

【田中さんが書いた作文メモ】

作文メモ① 「小さなシャボン玉」

◆ ア よく息をふくと小さなシャボン玉ができました。

1 楽しかった 2 いきよい 3 わたしは 4 いきおい

☆様子を表す言葉が入ります。

作文メモ② 「大きなシャボン玉を作るには」

◆ 大きいシャボン玉を作るには イ 息をふけば、よいだろうと考えました。

1 楽しく 2 そっと 3 妹と 4 考えて

☆様子を表す言葉が入ります

作文メモ③ 「シャボンえきを工夫くふうして」

◆ 妹が、

「ウ、シャボンえきをこくしてみたらどうかしら。」
と言ったので、こいシャボンえきを作ることになりました。

1 わたしは 2 弟と 3 おねえちゃん 4 お母さん

☆名前を表す言葉が入ります。

作文メモ④ 「シャボン玉づくりは大せいこう」

◆ シャボンえきを作りなおして息をふくと、大きなシャボン玉が
できました。シャボン玉は、空高くエ。

1 できました 2 とんでいきました

3 楽しかったです 4 消える

☆動きを表す言葉が入ります。

言葉のしゅるい（答え）

田中さんの学級では、言葉のしゅるいについて学習しました。言葉には、名前を表す言葉、動きを表す言葉、様子を表す言葉などがあります。

田中さんは、いろいろなしゅるいの言葉を使って、妹と二人でシャボン玉あそびをしたことを作文に書こうとしています。次の作文メモの□に入る言葉を、あとの1から4までの中から一つえらんで、番号にまるをつけましょう

ア：4	イ：2	ウ：3	エ：2
-----	-----	-----	-----

（解説）

作文メモ①【小さなシャボン玉】

- ・「様子を表す言葉」のうち正しいのは4の「いきおい」です。2の「いきよい」とまちがえないように注意しましょう。3の「わたしは」は「名前を表す言葉」です。

作文メモ②【大きなシャボン玉を作るには】

- ・「様子を表す言葉」は1と2ですが、そのうち2の「そっと」をえらびます。楽しくふいても大きなシャボン玉にはならないので、文章の意味を考えて 言葉をえらぶ必要（ひつよう）があります。3は「名前を表す言葉」、4は「動きを表す言葉」です。

作文メモ③【シャボンえきを工夫して】

- ・「名前を表す言葉」のうち、妹の会話文に、だれが登場するかを考えます。わたしと妹が二人でシャボン玉あそびをしています。妹がわたしのことをよぶのですから、3の「おねえちゃん」が正しいですね。

作文メモ④【シャボン玉づくりは大せいこう】

- ・「動きを表す言葉」をえらびますが、「空高く」につづく言葉をえらぶとすると、2の「とんでいきました」になります。重なる言葉をさけたり、つながりを考えたりして言葉をえらぶのも大事なことです。

本や文章を読んで、その中で使われている言葉が、どのような性質を持ち、どのように使い分けされるのかを考えてみましょう。

また、作文などでいろいろなしゅるいの言葉を使う場合には、その文の中でふさわしい形や言い方に直して正しく使いましょう。

読点を打つところ

年組番号

一、
[] 中の意味になるように、文章に読点を一つ
打ちましょう。

① 自転車に乗っているのは、兄

兄は自転車に乗ってにげる弟を追いかけた。

② 自転車に乗っているのは、弟

兄は自転車に乗ってにげる弟を追いかけた。

③ すてきなのは、川野先生

すてきな川野先生のピアノえんそうでしたね。

④ すてきなのは、川野先生のピアノえんそう

すてきな川野先生のピアノえんそうでしたね。

二、次の文に、読みやすくなるように（ ）の中の数だけ読点を打ちましょう。

ア わたしは四人家族です。（一つ）

イ 欠席者は二名田中さんと山本さんです。（一つ）

ウ 天候がよくなってきたのでプールに入れそうだ。（一つ）

エ あああの赤い屋根の家ですね。（一つ）

オ お父さんが

「またみんなで行こうね。」

と言いました。（二つ）

読点を打つところ（答え）

一、
[] 中の意味になるように、文章に読点を一つ
打ちましょう。

① 自転車に乗っているのは、兄

兄は自転車に乗って、にげる弟を追いかけた。

② 自転車に乗っているのは、弟

兄は、自転車に乗ってにげる弟を追いかけた。

③ すてきなのは、川野先生

すてきな川野先生の、ピアノえんそうでしたね。

④ すてきなのは、川野先生のピアノえんそう

すてきな、川野先生のピアノえんそうでしたね。

二、次の文に、読みやすくなるように（ ）の中の数だけ読点を打ちましょう。

ア わたしは、四人家族です。（一つ）

イ 欠席者は二名、田中さんと山本さんです。（一つ）

ウ 天候がよくなってきたので、プールに入れそうだ。

（一つ）

エ ああ、あの赤い屋根の家ですね。（一つ）

オ お父さんが、

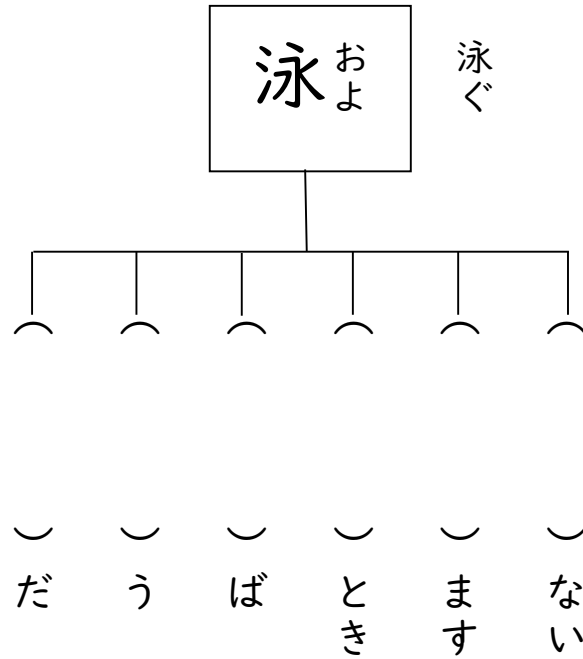
「また、みんなで行こうね。」

と言いました。（二つ）

送りがな

□ 年 □ 組 □ 番 名前

一、次の（ ）に送りがなを書きましょう。



二、次の□の言葉の形を変えて、下の文の（ ）に正しい送りがなを入れましょう。

① 上^{のぼ}る ○ かいだんを走って上（ ） ないでください。

② 下^おろす ○ ちよ金を下（ ） ば、買えます。

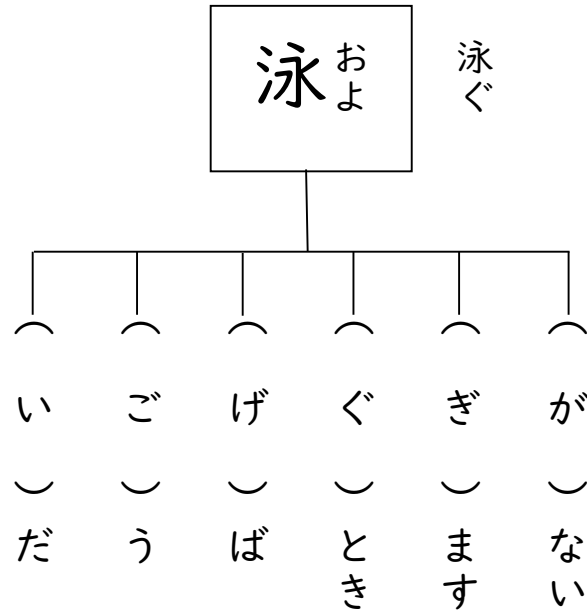
③ 冷^さめる ○ 五分お湯を冷（ ） と、ちょうどいいです。

④ 暖^{あたた}かい ○ 暖（ ） 春の日ざしは、気持ちがいい。

⑤ 育^{はぐく}む ○ 思いやりの心を育（ ） しましょう。

送りがな（答え）

一、次の（ ）に送りがなを書きましょう。



二、次の□の言葉の形を変えて、下の文の（ ）に正しい送りがなを入れましょう。

① 上^{のぼ}る □ かいだんを走って上（ ら ）ないでください。

② 下^おろす □ ちょ金を下（ ろせ ）ば、買えます。

③ 冷^さめる □ 五分お湯を冷（ ます ）と、ちょうどいいです。

④ 暖^{あた}かい □ 暖（ かい ）春の日ざしは、気持ちがいい。

⑤ 育^{はぐ}む □ 思いやりの心を育（ み ）ましょう。

「こそあどことば」を学ぼう

年	組	番	名前

◇ 次の（ ）にあてはまる「こそあどことば」を考えて書きましょう。

《例》あなたの目の前にいる

こ	の
---	---

 人が千葉さんです。

① わたしは、遠くに見える

--	--

 タワーの展望台にのぼったことがある。

② きのう、家族みんなで遊園地に行きました。

--	--

 には、楽しい乗り物がたくさんありました。

③ このおかしは

--	--

 のお店で売っていたのですか。

④

--	--

 ケーキを食べよう。

⑤

--	--	--

 に見える山がふじ山です。



⑥ 学校へは

--	--	--

 の道を行けばいいのか教えてください。



⑦

--	--	--

 の道を五分くらいすすむと、学校に着きます。



「こそあどことば」を学ぼう（答え）

◇ 次の（ ）にあてはまる「こそあどことば」を考えて書きましょう。

《例》あなたの目の前にいる

こ
の

 人が千葉さんです。

① わたしは、遠くに見える

あ
の

 タワーの展望台^{てんぼうだい}にのぼったことがある。

② きのう、家族^{かぞく}みんなで遊園地^{ゆうえんち}に行きました。

そ
こ

 には、楽しい乗り物^{もの}がたくさんありました。

③ このおかしは

ど
こ

 のお店で売っていたのですか。

④

こ
の

 ケーキを食べよう。



⑤

あ
そ
こ

 に見える山がふじ山です。

※ 「あちら」でも正かいです。



⑥ 学校へは

ど
ち
ら

 の道を行けばいいのか教えてください。

※ 「どっち」でも正かいです。



⑦

こ
ち
ら

 の道を五分くらいすすむと、学校に着きます。

※ 「こっち」でも正かいです。



しゅうしよく語を学ぼう

年

組

番名前

◇ 次の _____ 線の言葉（しゅうしよく語）は、どの言葉をくわしくしていますか。くわしくしている言葉に~~~~~を引きましょう。

【れい】ツバメは とても はやく とぶ。

①妹が うれしそうに 笑う。

②わたしの いちばん すきな 花です。

③サクラの 花が きれいに さいた。

④ゾウの 長い はなが 動く。

⑤わたしの 町に 大きな 公園が ある。

⑥楽しい 映画を みると わくわくする。

⑦車が ゆっくり 走る。

⑧あした 母と いっしょに ゆうえんち 遊園地に行く。

「しゅうしよく語」を学ぼう（答え）

◇ 次の 線の言葉（しゅうしよく語）は、どの言葉をくわしくしていますか。くわしくしている言葉に~~~~~を引きましょう。

【れい】ツバメは とても はやく とぶ。

① 妹が うれしそうに 笑う。

② わたしの いちばん すきな 花です。

③ サクラの 花が きれいに さいた。

④ ゾウの 長い はなが 動く。

⑤ わたしの 町に 大きな 公園が ある。

⑥ 楽しい 映画を みると わくわくする。

⑦ 車が ゆっくり 走る。

⑧ あした 母と いっしょに ゆうえんち 遊園地に行く。

「つなぎことば」を学ぼう

年	組	番	名前

◇つなぎことばについての問題です。

(一) 次の に合うつなぎことばを、あとの

からえらんで書きましょう。

①リコーダーを上手にふけるようになりたい、 わたしは、
毎日れんしゅうをしている。

②わたしは本を読むことが好きです。、体を動かすこと
はにがてです。

③今日、わたしは早おきをした。、公園に行ってラジオ
体そうにさんかするからだ。

④今日の夕ごはんはカレーライスですか、 ナポリタン
ですか。

なぜなら だから それとも そして しかし

(二) つなぎことばのあとに、「ざんねんだ」という気持ちが一番強
く表れているのはどの文ですか。記号で答えましょう。

ア 毎日走る練習れんしゅうをした。しかし、マラソン大会では三位いだった。
イ 毎日走る練習をした。だから、マラソン大会では三位だった。
ウ 毎日走る練習をした。そして、マラソン大会では三位だった。

「つなぎことば」を学ぼう（答え）

◇つなぎことばについての問題です。

（一）次の に合うつなぎことばを、あとの からえらんで書きましょう。

④ リコーダーを上手にふけるようになりたい、
毎日れんしゅうをしている。 だから わたしは、

⑤ わたしは本を読むことが好きです。 しかし、体を動かすこと
はにがてです。

⑥ 今日、わたしは早おきをした。 なぜなら、公園に行ってラジオ
体そうにさんかするからだ。

④ 今日の夕ごはんはカレーライスですが、
 それとも ナポリタン
ですか。

なぜなら だから それとも そして しかし

（二）つなぎことばのあとに、「がんばんだ」という気持ちが一番強く表れているのはどの文ですか。記ごうで答えましょう。

ア 毎日走る練習をした。しかし、マラソン大会では三位だった。
イ 毎日走る練習をした。だから、マラソン大会では三位だった。
ウ 毎日走る練習をした。そして、マラソン大会では三位だった。

主語、じゅつ語、しゅうしよく語を学ぼう

年組番名前

◇ 主語、じゅつ語、しゅうしよく語についての問題です。

(一) 次の文の、主語、じゅつ語、しゅうしよく語を表ひょうに書きま
しょう。

① わたしの ランドセルは 赤い。

主語		じゅつ語		しゅうしよく語	
----	--	------	--	---------	--

② 兄は 六時に 学校から 帰ります。

主語		じゅつ語		しゅうしよく語	
----	--	------	--	---------	--

③ 西の 空が とつぜん 暗くくなった。

主語		じゅつ語		しゅうしよく語	
----	--	------	--	---------	--

(二) 次の _____ 線のしゅうしよく語は、どの言葉の意味をくわしくしていますか。 に書きましょう。

① 弟が うれしそうに まんがを 読んでいる。

② 校庭に たくさんの 子どもたちが いました。

③ 静かな 教室で 花の 絵を かく。

④ 静かに 教室で 花の 絵を かく。

「主語、じゅつ語、しゅうしよく語」を学ぼう（答え）

◇ 主語、じゅつ語、しゅうしよく語についての問題です。

（一）次の文の、主語、じゅつ語、しゅうしよく語を表に書きま
しょう。
ひょう

①わたしの ランドセルは 赤い。

主語	ランドセルは	じゅつ語	赤い	しゅうしよく語	わたしの
----	--------	------	----	---------	------

②兄は 六時に 学校から 帰ります。

主語	兄は	じゅつ語	帰ります	しゅうしよく語	六時に 学校から
----	----	------	------	---------	-------------

③西の 空が とつぜん 暗くなった。

主語	空が	じゅつ語	暗くなった	しゅうしよく語	西の とつぜん
----	----	------	-------	---------	------------

(二) 次の _____ 線のしゅうしよく語は、どの言葉の意味をくわしくしていますか。 _____ に書きましょう。

① 弟が うれしそうに まんがを 読んでいる。

読んでいる

② 校庭に たくさんの 子どもたちが いました。

いました

③ 静かな 教室で 花の 絵を かく。

教室で

④ 静かに 教室で 花の 絵を かく。

かく

「曲がり」と「おれ」に気をつけよう

	年		組		番	名前	
----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----	----------------------

◇ 岡田さんは書写の学習で「曲がり」と「おれ」の筆づかいの練習れんしゅうをしました。そして、筆のつかい方のちがいに気づくことができました。

ビル

意見

「曲がり」 「おれ」

「おれ」 「おれ」 「曲がり」

一、次の文字の「曲がり」の部分を見つけて○をつけましょう。

セ配港礼院

二、次の文字の「おれ」の部分を見つけて○をつけましょう。

フ銀医長植

三、他にも「曲がり」や「おれ」の部分がある漢字を二つずつさがして書きなさい。

「曲がり」

「おれ」

----------------------	----------------------

----------------------	----------------------

「曲がり」と「おれ」に気をつけよう（答え）

◇ 岡田さんは書写の学習で「曲がり」と「おれ」の筆づかいの練習れんしゅうをしました。そして、筆のつかい方のちがいに気づくことができました。

ビル

意見

「曲がり」 「おれ」

「おれ」 「おれ」 「曲がり」

一、次の文字の「曲がり」の部分を見つけて○をつけましょう。

セ配港礼院

二、次の文字の「おれ」の部分を見つけて○をつけましょう。

フ銀医長植

三、他にも「曲がり」や「おれ」の部分がある漢字を二つずつさがして書きなさい。

「曲がり」 （例）

「おれ」 （例）

究丸

局始

ローマ字しりとりをしよう

年
組
番
名前

一、ローマ字は色々なつづり方をする場合があります。左がわと同じ読み方でちがうつづり方になるように下の□からえらんでアルファベットを書きなさい。（同じアルファベットを二回使う場合があります。）

例) みち	miti	—	michi
きしゃ	kisya	—	kis□a
つる	turu	—	t□uru
ふた	huta	—	□uta
みかづき	mikazuki	—	mika□uki
じかん	zikan	—	□ikan
じゃむ	zyamu	—	□amu
j s h f d a			

二、しりとりがつながるように□にアルファベットを入れなさい。（つなげる文字は一文字でも二文字でもいいです。）

kawa (かわ)
↓

wani (わに)

↓
↓
↓
↓
↓

ローマ字しりとりをしよう (答え)

一、ローマ字は色々なつづり方をする場合があります。左がわと同じ読み方でちがうつづり方になるように下の□からえらんでアルファベットを書きなさい。(同じアルファベットを二回使う場合があります。)

miti — michi

kisya — kisha

turu — t^hsuru

huta — f^uuta

mikazuki — mikad^uuki

zikan — jⁱikan

zyamu — j^aamu

j s h f d a

例) みち

きしゃ

つる

ふた

みかづき

じかん

じゃむ

二、でしりとりがつかないでつなげるように□にアルファベットを入れない。文字は二文字でもいでもみましよう。(つなげる文字は一文字でも)

kawa (かわ)

↓

wani (わに)

(例) ↓

Niwatori (にわとり)

↓

Rika (りか)

↓

Kai (かい)

↓

Inasaku (いなさく)

↓

Kusuri (くすり)